

基調講演「世界遺産登録後の平泉を考える」

五味 文彦 氏



五味文彦先生 略歴

1946年生まれ。山梨県甲府市出身。東京大学大学院博士課程中退後、東京大などで教鞭をとり、現在は放送大学教授。日本中世史が専門で、文書や日記・書簡はもとより、絵巻などの絵画資料や文学までを含む多様な史料、考古学の成果をなども利用しつつ、日本の歴史を芸能・文化を含む広い視野で捉え、多くの研究成果をあげている。

2月4日(土)

開会行事 13:00～13:15

基調講演 13:30～14:50

演題 「世界遺産登録後の平泉を考える」
五味 文彦 氏 放送大学教授

遺跡報告と共同研究発表 15:10～16:45

- 柳之御所遺跡の調査成果 平泉遺跡群調査事務所
- 平泉出土文字資料の再検討 その1 兵庫大学 岡 陽一郎 氏 他
- 骨寺村荘園遺跡の調査 一関市教育委員会
- 長者ヶ原廃寺跡の調査成果 奥州市世界遺産登録推進室
- 白鳥館遺跡の調査成果 奥州市世界遺産登録推進室

2月5日(日)

遺跡報告と共同研究発表 9:15～11:30

- 無量光院跡の調査成果 平泉町教育委員会
- 中尊寺大池跡の調査成果 平泉町教育委員会
- 西周金文に見える苑池について 岩手大学 藪 敏裕 氏・劉 海宇 氏
- 毛越寺庭園の調査成果 平泉町教育委員会
- 日記としての「給絹日記」 岩手大学 菅野 文夫 氏
- 12世紀前後における奥州藤原氏文化と北海道の関連について 札幌国際大学 越田賢一郎 氏
- 平泉の特殊性 山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆 氏

閉会 12:00